

TOTO

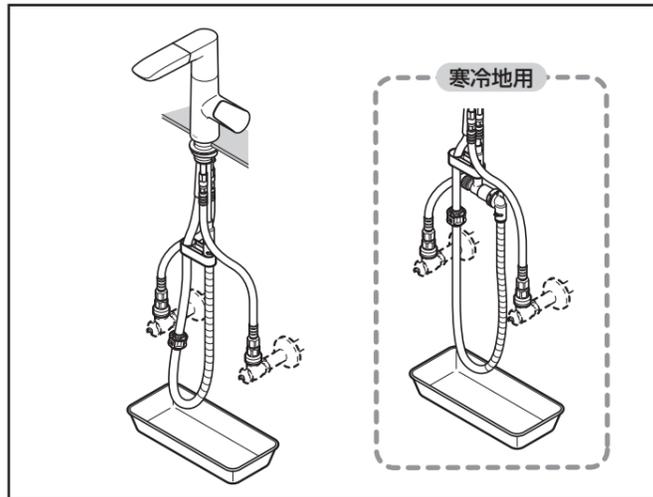
ホース交換要領

施工説明書

THC86型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

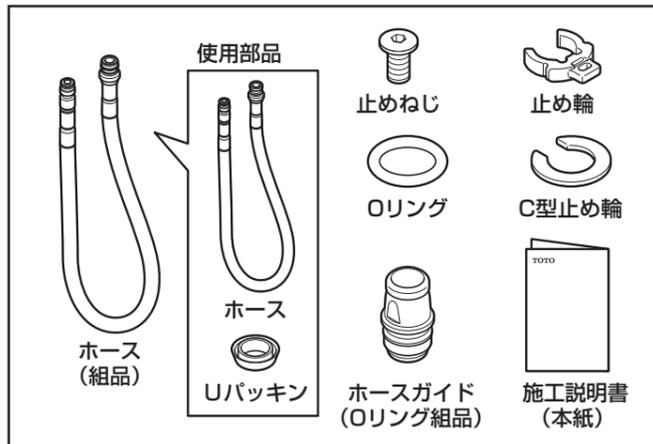
1. 商品全景



※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

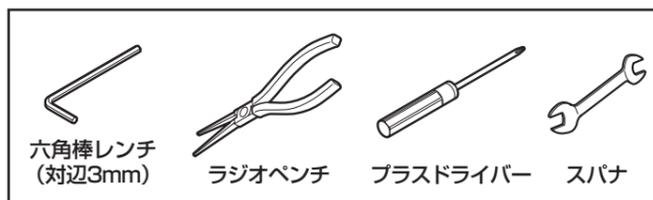
2. 部品一覧

次の部品があることを確認してください。



3. 使用工具

ホースの交換には次の工具が必要です。
事前にご準備ください。



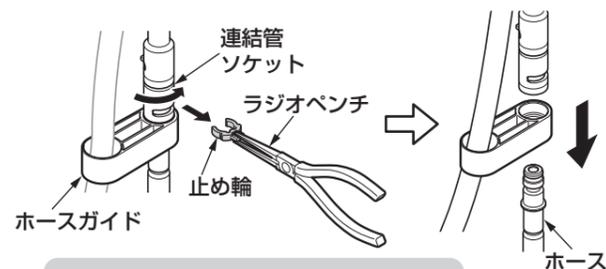
4-1. 取替方法

①湯側・水側の止水栓または元栓を確実に閉める。

②ホースを取り外す。

<一般地の場合>

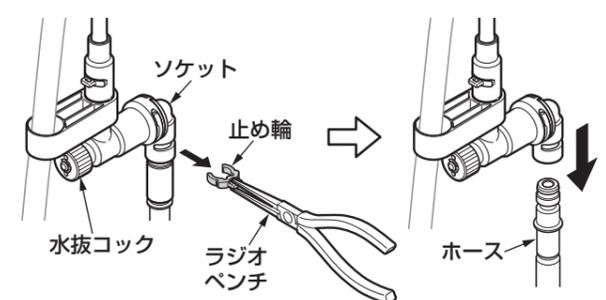
止め輪を連結管ソケットからラジオペンチにて引っ張り、ホースを下に引っ張って取り外す。



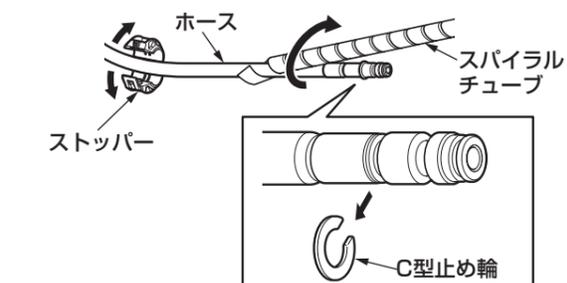
ソケットの向きを回転させて施工しやすい位置に調整してください。

<寒冷地の場合>

止め輪を水抜コックのソケットからラジオペンチにて引っ張り、ホースを引っ張って取り外す。

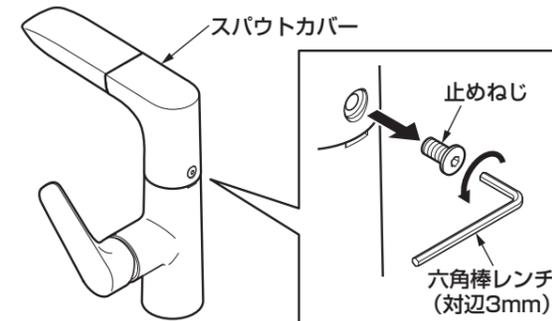


③ストッパー、C型止め輪を外し、スパイラルチューブを回転させながら取り外す。

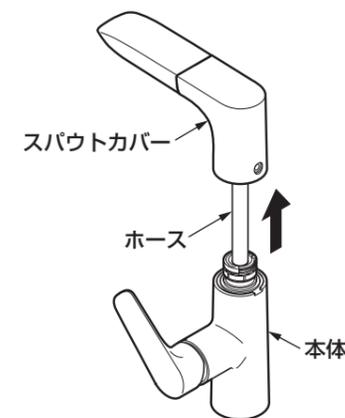


4-2.

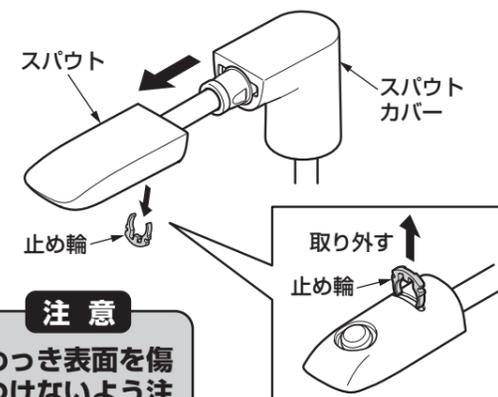
④スパウトカバーの止めねじを外す。



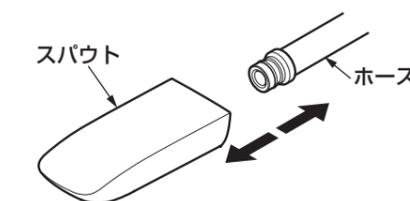
⑤スパウトカバーとホースを本体から引き抜く。



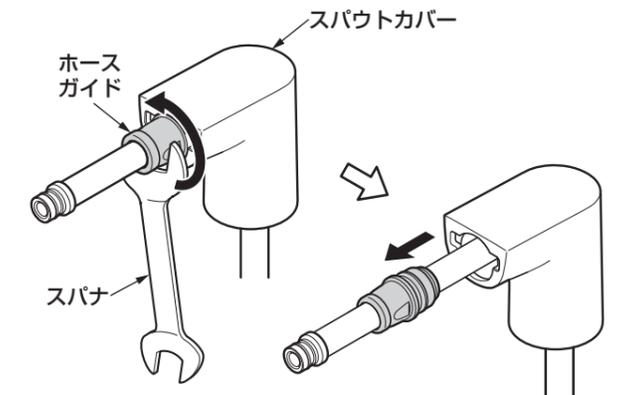
⑥スパウトカバーからスパウトを引き出し、マイナスドライバーなどで止め輪を取り外す。



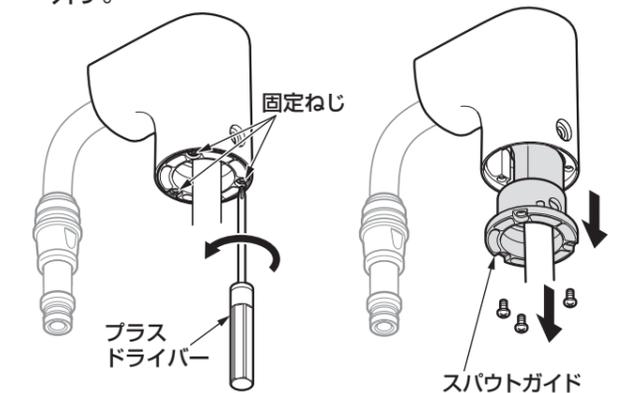
⑦ホースをスパウトから引き抜き、スパウトと分離させる。



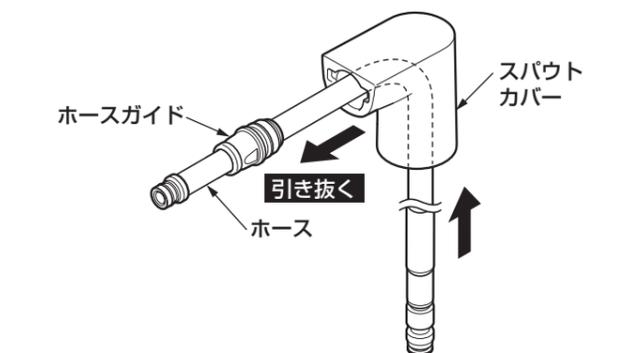
⑧ホースガイドを回転させて取り外す。



⑨固定ねじ(3本)を外し、スパウトガイドを取り外す。

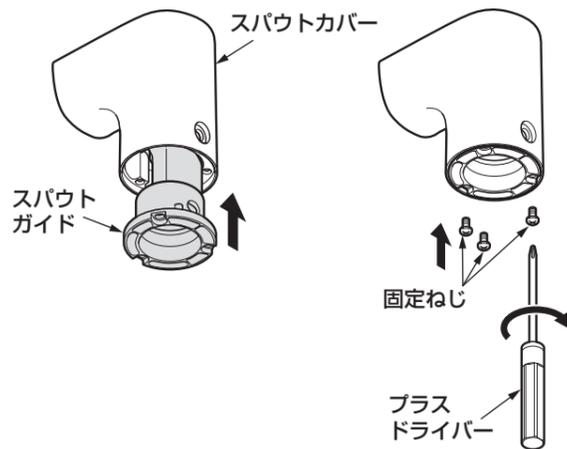


⑩スパウトカバーからホースガイド、ホースを引き抜く。

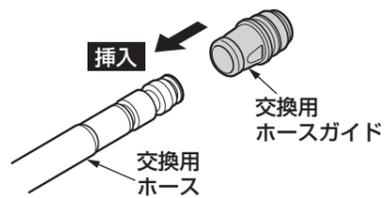


4-3.

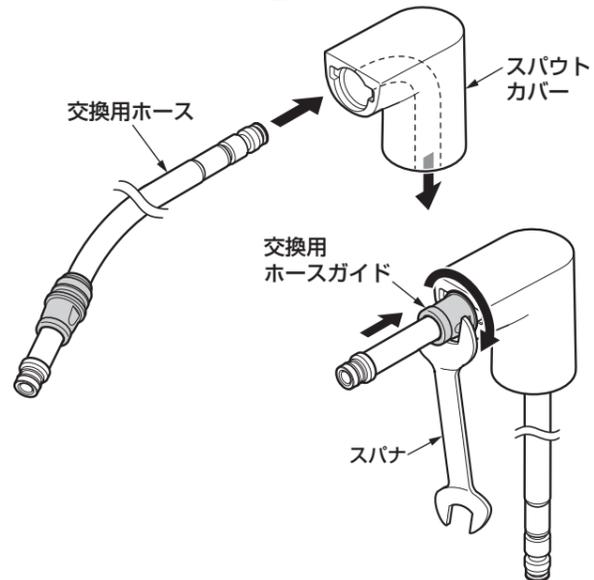
⑪ホースを引き抜いた後、⑨で取り外したスパウトガイドをスパウトカバーの凹凸にあわせて、固定ねじ(3本)で取り付ける。



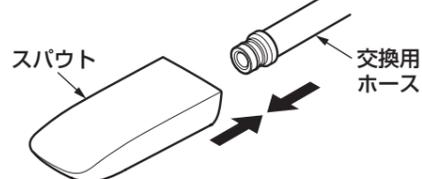
⑫交換用ホースガイドを交換用ホースに挿入する。



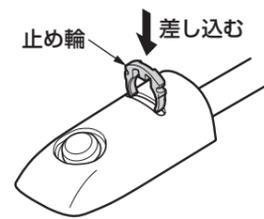
⑬スパウトカバーに交換用ホースを挿入し、交換用ホースガイドをねじ込む。



⑭交換用ホースをスパウトの奥に当たるまで差し込む。

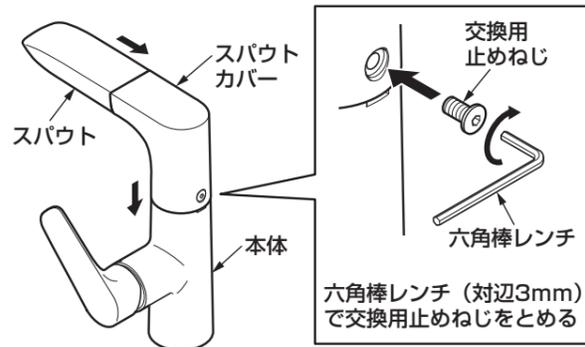


⑮止め輪を元の場所に差し込む。

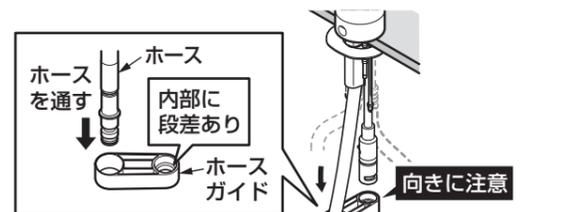


ホースが十分に差し込まれていないと止め輪が取り付けられません。

⑯本体にホースを挿入後、スパウトカバーを取り付け、交換用止めねじで固定する。



⑰ホースをホースガイドの穴に通す。



⑱取り付けは、必ずスパイラルチューブ、ストッパー、交換用C型止め輪、交換用Oリングの順で行うこと。



スパイラルチューブは巻きながら取り付ける

注意

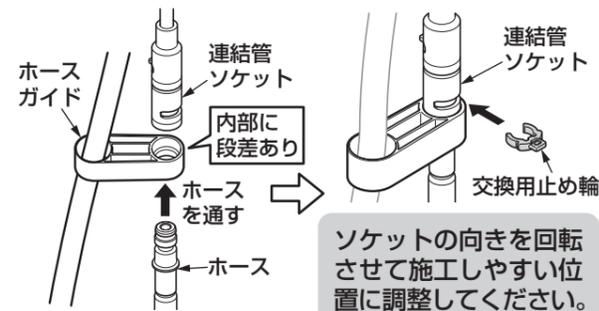
- Oリングを入れる際に入れにくい場合は水(石けん水)などで濡らしてください。
- Oリングの取り付けは、スパイラルチューブを挿入した後にすること。
- ※Oリングを取り付けたままスパイラルチューブを挿入すると、Oリングに傷がつき、水漏れの原因となります。

4-4.

⑲ホースを接続する。

＜一般地の場合＞

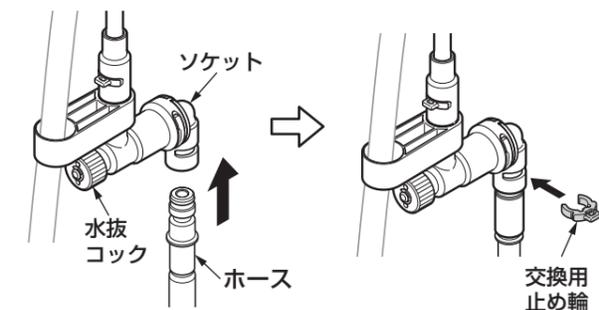
連結管ソケットにホースを差し込み、交換用止め輪を差し込むことでホースを固定する。



ソケットの向きを回転させて施工しやすい位置に調整してください。

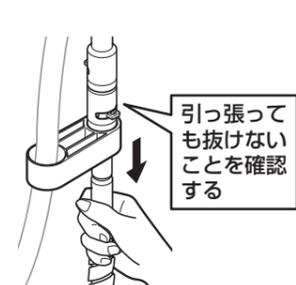
＜寒冷地の場合＞

水抜コックのソケットにホースを差し込み、交換用止め輪を差し込むことでホースを固定する。



⑳引っ張っても抜けないことを確認する。

＜一般地の場合＞

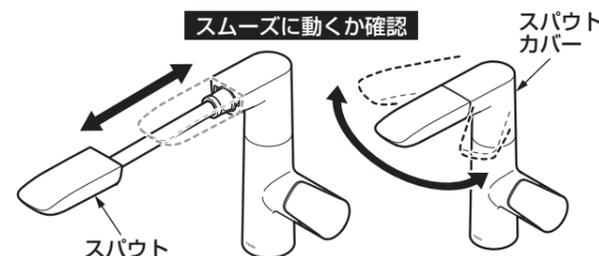


＜寒冷地の場合＞



㉑スパウト、スパウトカバーがスムーズに動くことを確認する。

湯側・水側の止水栓および元栓を開け、通水を行いホース接続部からの水漏れがないことを確認する。

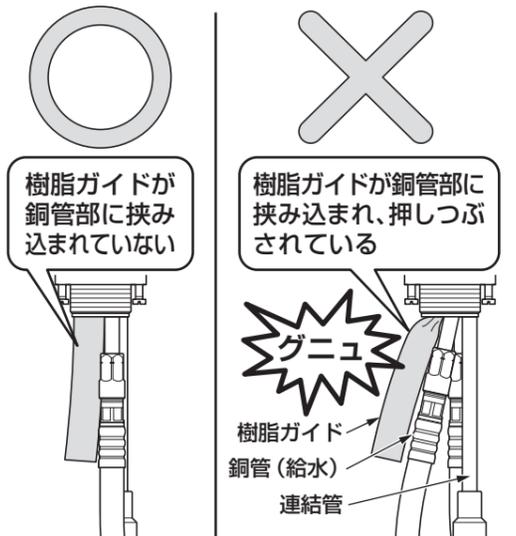


注意

スムーズに動かない場合は以下を確認してください。

●給水・給湯ホースの銅管部が樹脂ガイドを挟み込んでいないか。

樹脂ガイドの挟み込みに注意



●ホースがねじれていないか。

●ホースガイドが正しく取り付けられているか。

最適流量の目安

※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量が5~6L/分程度(目盛りの付いた計量カップなどで500mlが約5~6秒)になるように止水栓で調節してください。

※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量がでない場合があります。